

## デマンド監視システムの監視用パソコンの移行手順書 (Wireless Utility の場合)

本紙は、デマンド監視システムとして運用しているパソコンを、別のパソコンにソフトウェア等を移行するための手順書です。パソコンのOSは、Windows 7 から、Windows 10 としています。

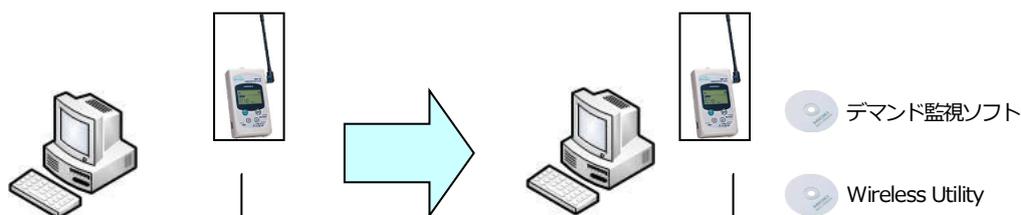
移行には、約 1～2 時間程度かかります。

(旧パソコンに保存されている、ファイルサイズに依存します)

移行中は、データが欠損するため、デマンド監視ができません。

電力使用が少ない時間帯での作業を、お勧めいたします。

### 1. 移行の概要



#### 【旧パソコン】

OS : Windows 7

Ⅲ.記録の停止

Ⅳ.ファイルのコピー

Ⅵ.ソフトウェアのアンインストール

#### 【新パソコン】

OS : Windows 10

Ⅰ.ソフトウェアのインストール

Ⅱ.ドライバのインストール

Ⅴ.ファイルの貼り付け、動作確認

※ : 新・旧パソコン間で、操作が行き来します。

### 2. Windows10 に対応していない項目

#### – 1. デマンド監視(制御)ソフトでの印刷

デマンド監視(制御)ソフトで、メニューの[ファイル]–[印刷]での印刷ができません。

#### – 2. USB 警告灯 (オプション品)

※ : アイエスエイ社製 UX103 は、Windows10 をサポートしておりません。



## 3. ソフトウェアのサポート状況

対応 OS	Windows7		Windows10	
	32bit 版	64bit 版	32bit 版	64bit 版
デマンド監視ソフト 9688	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.22 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.22 以降
デマンド監視ソフト 9688-01	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.22 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.22 以降
デマンド監視ソフト 9688-30	○ Ver1.03 以降	○ Ver1.04 以降	△ Ver1.03 以降	△ Ver1.04 以降
デマンド監視制御ソフト 9689	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.24 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.24 以降
Wireless Utility	○ Ver1.33 以降		△ Ver1.35 以降	

○ : 対応済

△ : 一部規制事項あり。詳しくはホームページの「サポート情報」を参照ください。

[https://www.hioki.co.jp/jp/support/soft\\_windows10/](https://www.hioki.co.jp/jp/support/soft_windows10/)

## 4. 事前に準備するもの（ご購入時の選定により、ソフトウェアの型番が異なります）

## - 1. デマンド監視(制御)ソフト CD-R 1枚

※ : お手元の CD-R のバージョンが古く、インストールできないお客様は、最寄りの営業所までお問い合わせください。

## - 2. 3913 コミュニケーションベース用ソフトウェアと USB ドライバ

ホームページから、「サポート情報」 - 「ソフトウェアダウンロード」画面で「3913」と入力し検索します。

<https://www.hioki.co.jp/jp/support/softwaredownload/>

ソフトウェアダウンロード

ダウンロードしたいソフトウェア(製品ファームウェアおよびパソコン用アプリケーションソフトウェア)を製品本体の形名(発注コード)で検索できます。

ソフトウェアダウンロードは会員登録(e-友マイページ登録)が必要な場合があります。

この機会にぜひ、e-友マイページ登録をお願いいたします。

本体製品形名(発注コード)

検索結果		
タイプ	タイトル	バージョン
		公開日
フリーウェア	コミュニケーションベース 3910,3911,3912,3913用COMMUNICATION UTILITY (USBドライバ添付)	V3.15
		2016年12月28日
フリーウェア	コミュニケーションベース 3913用Wireless Utility(USBドライバ添付)	V1.35
		2012年7月5日
フリーウェア	データミニ データ修復ツール	V1.00
		2007年10月4日
フリーウェア	コミュニケーションベース 3913用USBドライバ	V1.21
		2006年9月10日

「3913用 Wireless Utility」と、「3913用 USB ドライバ」をダウンロードします。  
ドライバインストール手順書も、あわせてダウンロードください。

※：セキュリティ等の関係で、ホームページからダウンロードできないお客様は、最寄りの営業所までお問い合わせください。

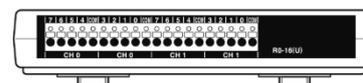
### － 3. 外部メディア

データを移行するための外部メディア。(USB メモリや CD-R 等)

### － 4. RO-16(U) リレー接点出力装置 (デマンド監視制御ソフト用)

ライフutron社のホームページから、最新版のドライバをダウンロードしてください。(USB/I/O ドライバ)

<http://www.lifetron.jp/>



### － 5. USB 警告灯 (オプション品)

※：アイエスエイ社製 UX103 は、Windows10 をサポートしておりません。



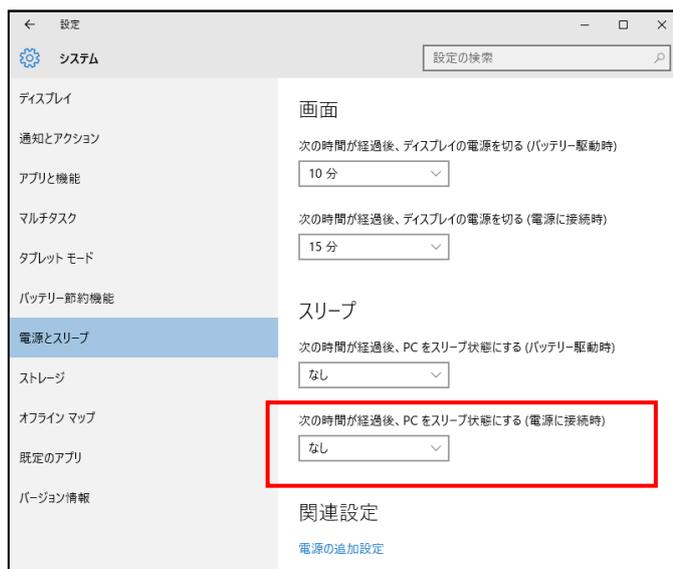
## 5. 新パソコンの準備 (Win10)

### – 1. 時刻補正

パソコンの時計を合わせてください。

### – 2. 電源の設定

Windows の [設定] 画面で、[電源とスリープ] の項目内の [PC をスリープ状態にする] を、[なし] と設定してください。

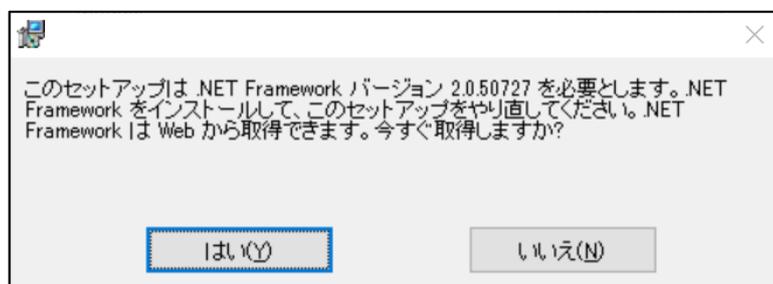


### – 3. ソフトウェアのインストール

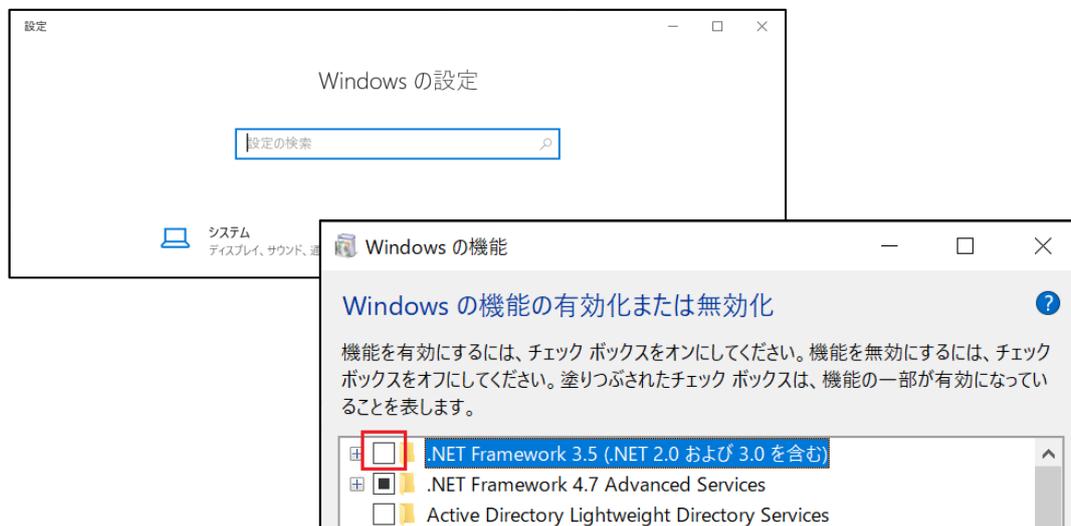
「Wireless Utility」と「デマンド監視ソフト」をインストールします。

なお、Windows10 の場合、インストールには以下の注意が必要です。

- (1). 「デマンド監視ソフト」のインストール時、以下のメッセージが表示された場合は、.NET framework3.5 を有効にする必要があります。



Windows の [設定] 画面で、「Windows の機能の有効化または無効化」を検索します。  
 .NET framework3.5 を有効とした後、「デマンド監視ソフト」をインストールします。



(2).インストールフォルダを、デフォルトの C:¥Program Files 以外に変更してください。

「デマンド監視ソフト」

C:¥Program Files¥HIOKI¥Demand Checker¥



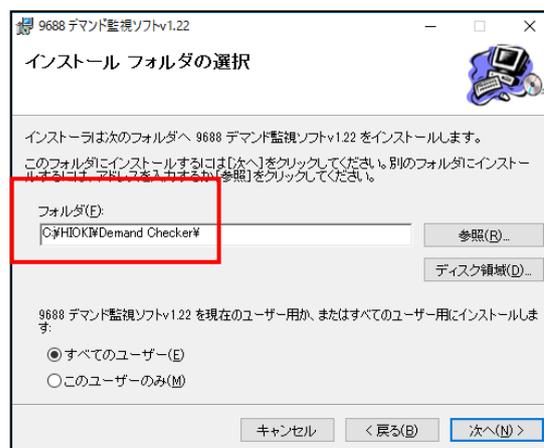
C:¥HIOKI¥Demand Checker¥

「Wireless Utility」

C:¥Program Files¥WirelessUtility¥



C:¥HIOKI¥Wireless Utility¥

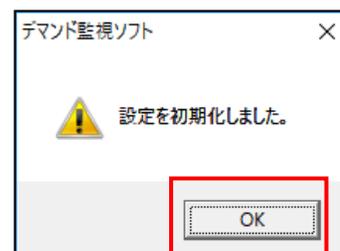


#### － 4. ソフトウェアの起動

インストールしたソフトウェアが、起動することを確認します。

「Wireless Utility」と「デマンド監視ソフト」の両方を、必ず一度起動してから終了します。

なお、デマンド監視ソフトでは、「設定を初期化しました」とメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



## – 5. ドライバのインストール

### (1). コミュニケーションベース 3913

「4-2.」でダウンロードしたUSBドライバを、インストール手順書に沿ってインストールします。インストール後、パソコンと3913をUSBケーブルで接続してください。3913に「Master」と表示されることを確認します。



### (2). デマンド監視ソフト 9688-30

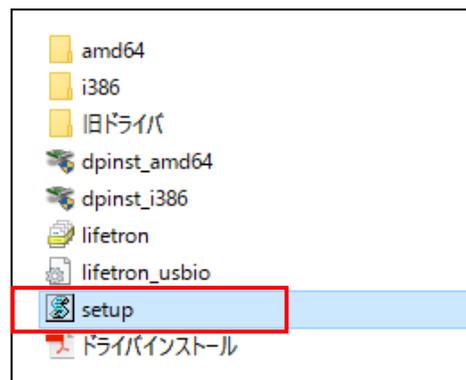
UX103以外のUSB警告灯を利用している場合、ドライバ等をインストールしてください。設定方法は下記、「デマンド監視装置 ソフトウェア設定マニュアル」のp.19「8.警告灯 (USBタイプ)の設定」を参照ください。

[http://2300.hioki.jp/demand\\_system.html](http://2300.hioki.jp/demand_system.html)

インストール後、パソコンとUSB警告灯をUSBケーブルで接続します。

### (3). デマンド監視制御ソフト 9689

RO-16(U) リレー接点出力装置を利用している場合、ライフトロン社のホームページから、ダウンロードしたUSBI/Oドライバ内の「setup」を実行します。インストール後、パソコンとRO-16(U)をUSBケーブルで接続します。



## 6. 「Wireless Utility」での操作 (Win7)

記録停止中は、データが欠損するため、**デマンド監視**ができません。  
電力使用が少ない時間帯での作業を、お勧めいたします。

- 1. ツールバーの [記録設定] ボタンを押します。

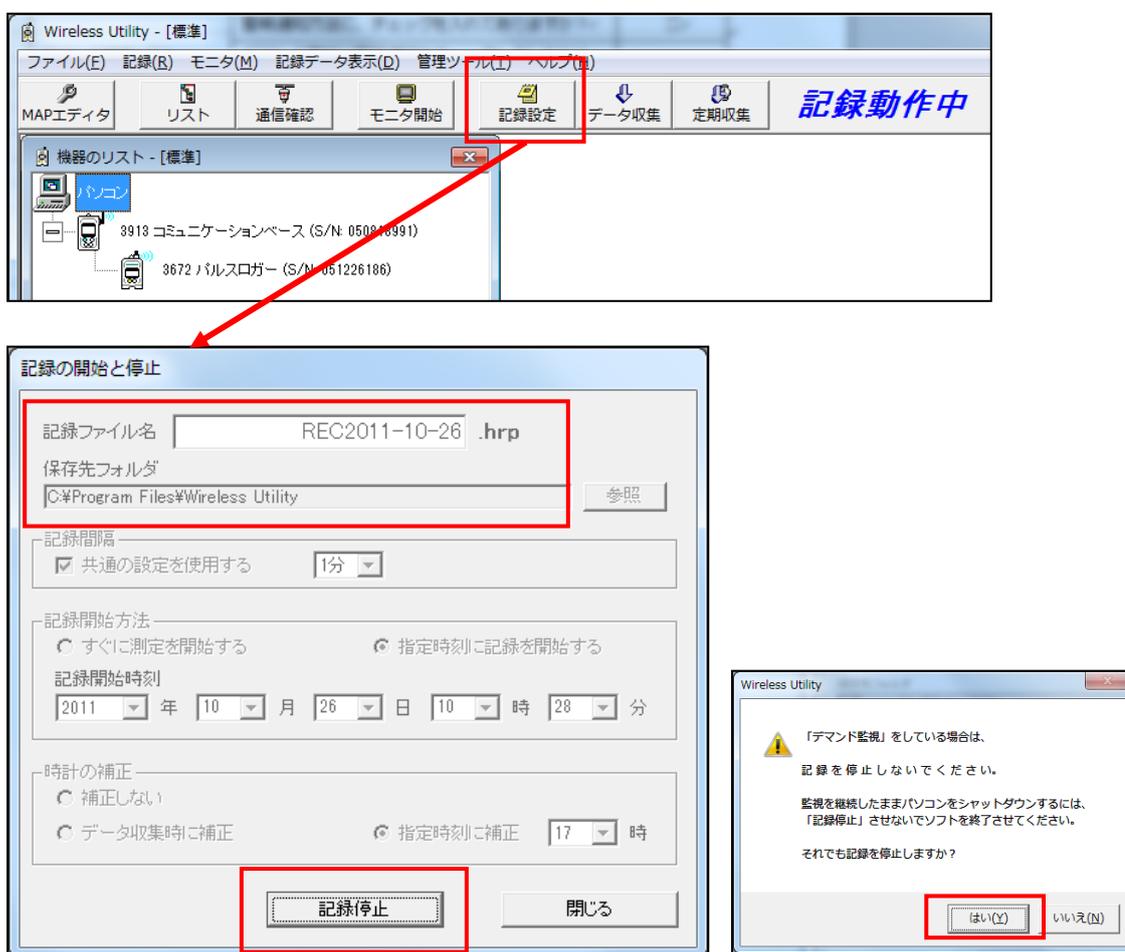
[記録の開始と停止] 画面で、記録ファイル名と保存先フォルダを控えておきます。

記録ファイル名：  
\_\_\_\_\_

保存先フォルダ：  
\_\_\_\_\_

[記録停止] ボタンを押し、**一旦記録を停止**します。

「デマンド監視」の確認画面が表示されますが、そのまま記録を停止します。



- 2. メニューバーの [ファイル] – [終了] をクリックし、「Wireless Utility」を終了します。

(または、右上の × をクリックします)

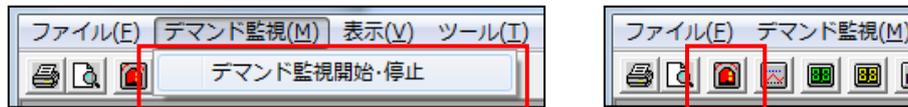
※：新・旧パソコンで同時に起動できませんので、必ず終了してください。

## 7. 「デマンド監視ソフト」での操作 (Win7)

「デマンド監視ソフト」を終了します。

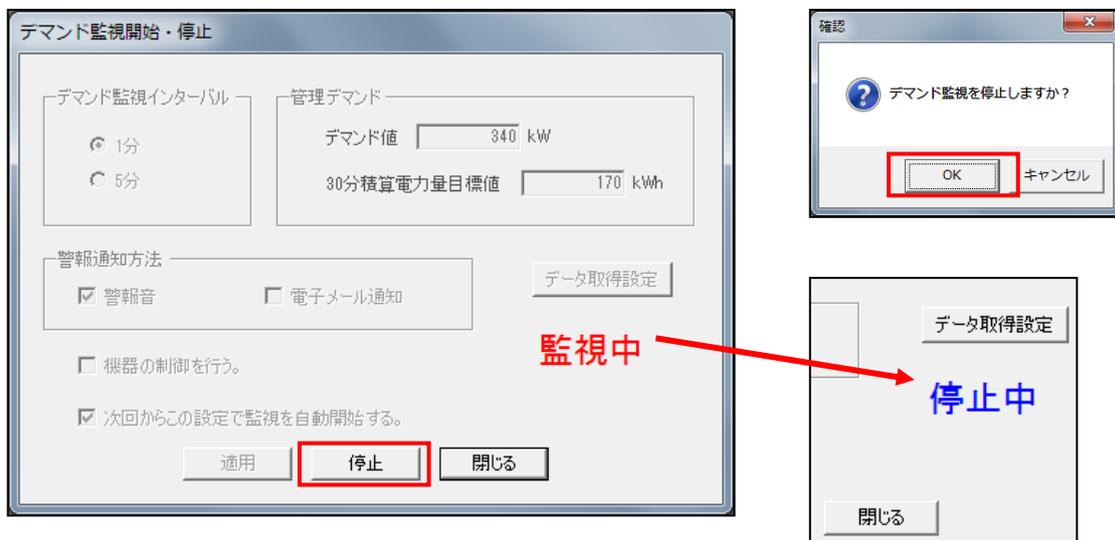
- 1. メニューバーの [デマンド監視] - [デマンド監視開始・停止] をクリックします。

(または、ツールバーの  アイコンをクリックします)



- 2. [デマンド監視開始・停止] 画面で、[停止] ボタンをクリックし、確認画面で [OK] をクリックします ([監視中] の表示が [停止中] に変わります)。

9688-01 の場合、全ての測定ポイントについて同様に操作します。



- 3. [閉じる] ボタンをクリックし、[デマンド監視開始・停止] 画面を閉じます。

- 4. メニューバーの [ファイル] - [終了] をクリックし、「デマンド監視ソフト」を終了します。

(または、右上の  をクリックします)

## 8. ファイルのコピー (Win7)

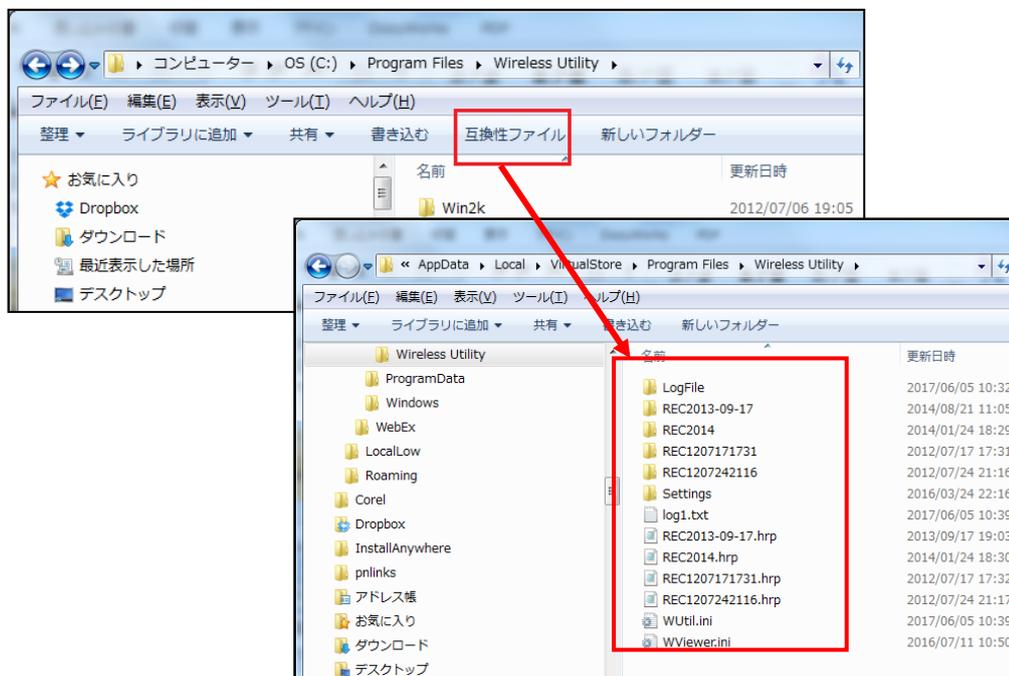
現在使用しているパソコン (Win7) から、フォルダおよびファイルをコピーします。

### – 1. 「Wireless Utility」

インストール先のフォルダ (通常は C:¥Program Files¥Wireless Utility) を開き、以下のフォルダおよびファイルを、外部メディア (USB メモリ等) にコピーします。

※ : Windows 7 では、ユーザアカウント制御 (UAC) の設定によって、

C:¥Program Files¥ Wireless Utility のフォルダ内に、目的のフォルダやファイルが表示されないことがあります。その場合、**互換性ファイル** ボタンをクリックすることで、フォルダやファイルが表示されます。



- ① 「Settings」 . . . 機器の構成や測定条件などが保存された「フォルダ」
- ② WUtil.ini . . . 「Wireless Utility」の設定に関するファイル
- ③ log1.txt . . . 通信エラーなどの情報が記録されたファイル  
 ※ : 容量が大きくなると、log2.txt/log3.txt … と作成されます。全てコピーします。
- ④ RECxxxxxxxxx.hrp . . . 記録データ代表ファイル※
- ⑤ 「RECxxxxxxxxx」 . . . 記録データが保存された「フォルダ」※
- ⑥ WViewer.ini . . . 「Wireless Utility Viewer」の設定に関するファイル
- ⑦ ViewTemplate . . . 「Wireless Utility Viewer」の表示情報の「フォルダ」  
 (⑥・⑦については、存在しない場合もあります)

※：記録データについて（④・⑤）

④・⑤の名称は、記録を開始する際、「Wireless Utility」が、「RECxxxxxxxxxx」という記録ファイル名を自動的に付けますが、任意の名前に変更している場合もあります。

（xxxxxxxxxxの部分は、記録開始時の年/月/日/時/分を示す10桁の数値が入ります）

また、記録データの保存先も、任意に設定できるため、上記フォルダに存在しないことがあります。

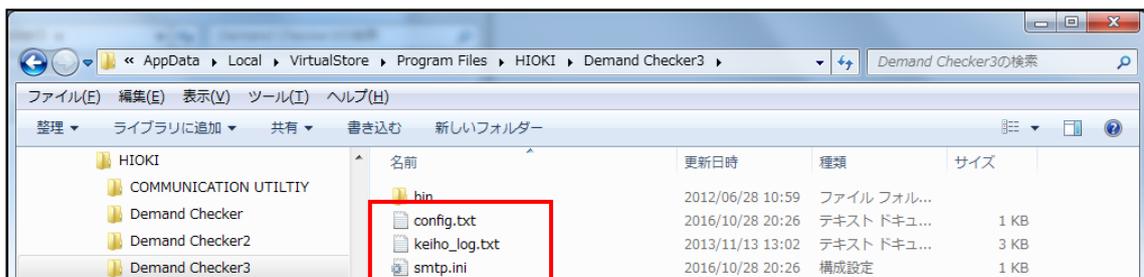
「6.-1.」の「記録の開始と停止」画面で、控えた内容を確認ください。

- 2. 「デマンド監視ソフト 9688/9688-30」、または「デマンド監視制御ソフト 9689」インストール先のフォルダ（通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker〇）（〇：末尾に数字がつく場合があります）を開き、以下のファイルを外部メディア（USBメモリ等）にコピーします。

※：- 1. 同様、上記フォルダ内に、目的のフォルダやファイルが表示されない場合は

**【互換性ファイル】** ボタンをクリックしてください。

- ⑧ config.txt            . . .    設定ファイル
- ⑨ keiho\_log.txt        . . .    警報通知の履歴ファイル
- ⑩ smtp.ini             . . .    メールの認証設定ファイル



- 3. 「デマンド監視ソフト 9688-01」

インストール先のフォルダ（通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker2）を開き、以下のフォルダおよびファイルを、外部メディア（USBメモリ等）にコピーします。

※：- 1. 同様、上記フォルダ内に、目的のフォルダやファイルが表示されない場合は

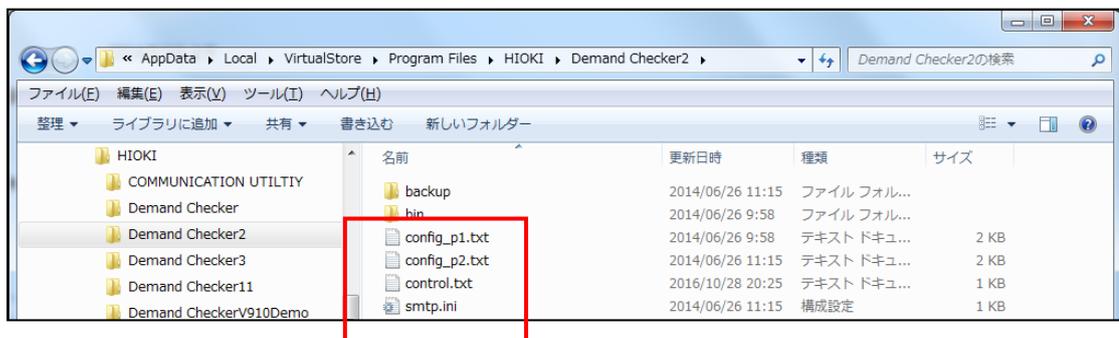
**【互換性ファイル】** ボタンをクリックしてください。

- ⑪ config\_p1.txt . . . . 測定ポイント1 の設定ファイル※
- ⑫ config\_p2.txt . . . . 測定ポイント2 の設定ファイル※
- ⑬ config\_p3.txt . . . . 測定ポイント3 の設定ファイル※
- ⑭ config\_p4.txt . . . . 測定ポイント4 の設定ファイル※
- ⑮ control.txt . . . . 起動ソフトの設定ファイル
- ⑯ keiho\_log.txt . . . . 警報通知の履歴ファイル
- ⑰ smtp.ini . . . . . メール認証設定ファイル

※：測定ポイントについて（⑪～⑭）

測定ポイントは、設定により⑪～⑭の4つ、すべて存在しないことがあります。

その場合、存在する設定ファイルをすべてコピーします。



## 9. ファイルの貼り付け (Win10)

新パソコン (Win10) に、旧パソコン (Win7) でコピーしたファイルを貼り付けます。

### – 1. 「Wireless Utility」

#### (1). 設定ファイルの貼り付け (①～③、⑥・⑦)

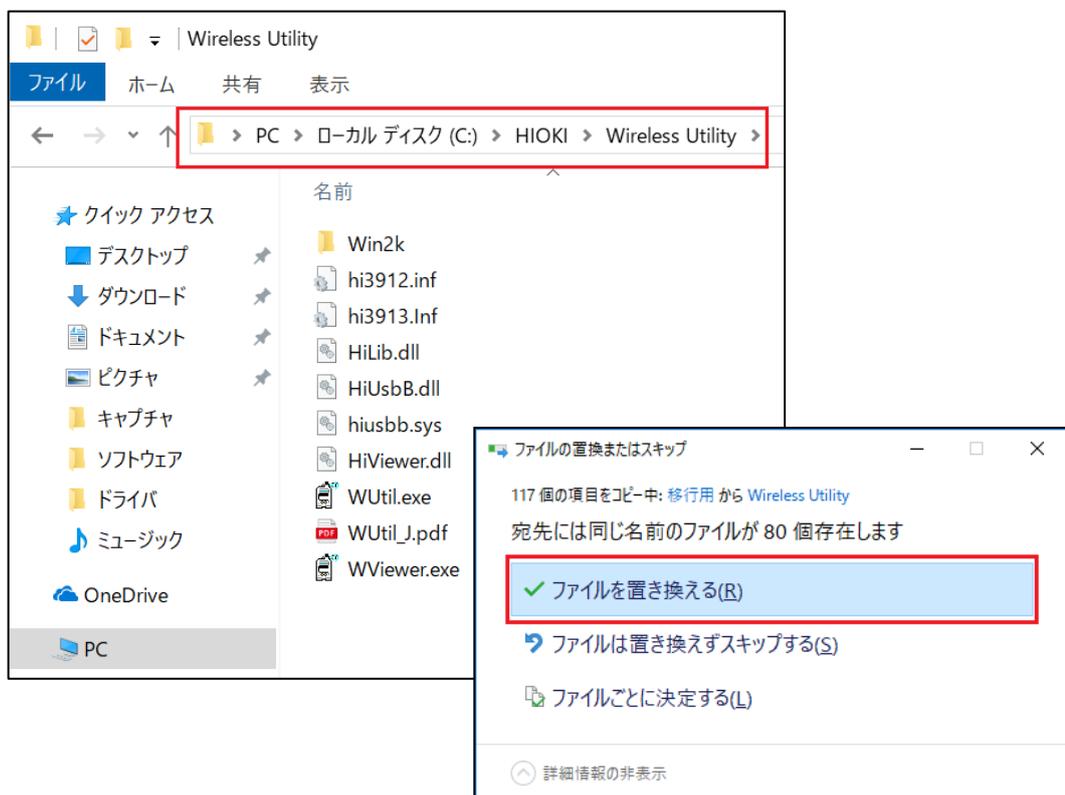
新パソコンのインストール先に、「8 – 1.」でコピーしたフォルダおよびファイル (①～③、⑥・⑦) を貼り付けます。

コピー元	貼り付け先 (Wireless Utility のインストール先で変わります)	
	C:¥Program Files 以外の場合	C:¥Program Files の場合
① 「Settings」 ② WUtil.ini ③ log1.txt ⑥ WViewer.ini ⑦ ViewTemplate	インストール先のフォルダ内 例 : C:¥HIOKI¥Wireless Utility¥	下記 b. 参照

#### a. インストール先が、C:¥Program Files 以外の場合

インストール先のフォルダ内に貼り付けます。

同名のファイルに貼り付けますので、すべて [ファイルを置き換える] を選択してください。



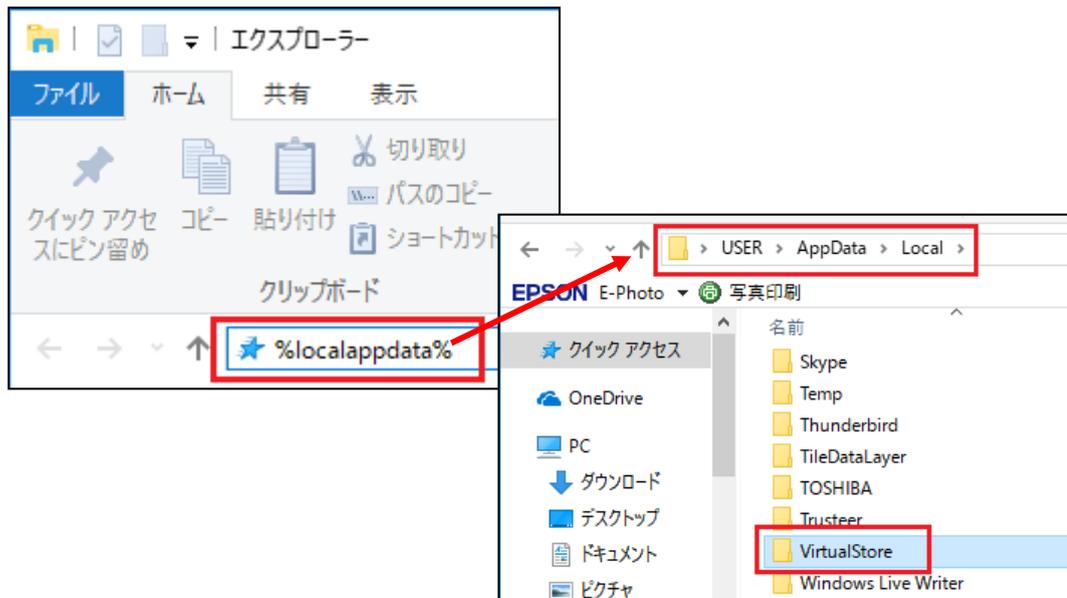
b. インストール先が、C:¥Program Files の場合

貼り付け先は、

C:¥Users ¥ユーザ名¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥Wireless Utility

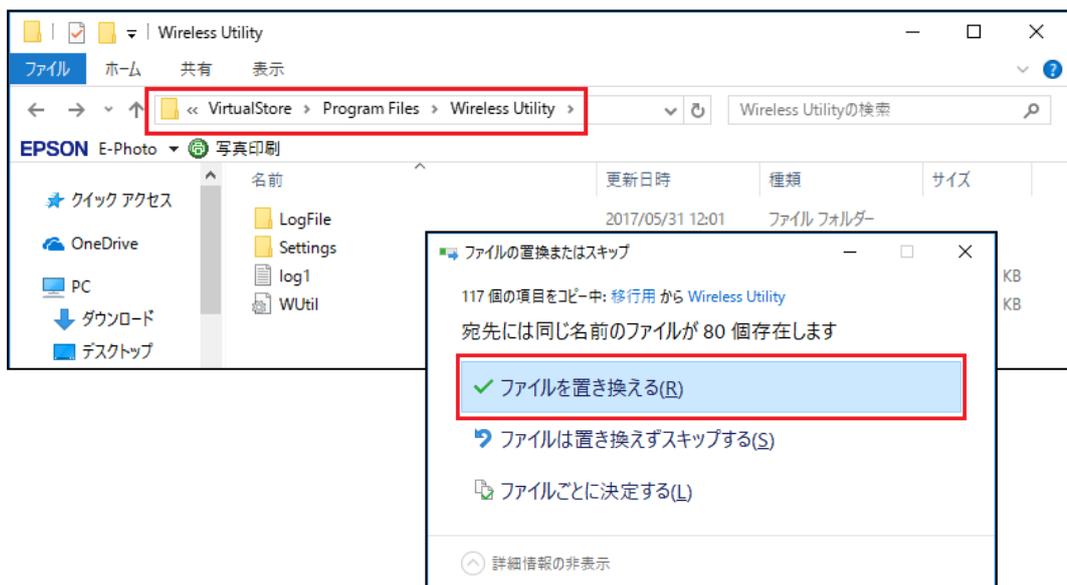
ですが、「AppData」フォルダが隠しフォルダのため、エクスプローラーで直接開けません。

まずは、エクスプローラーのアドレスバーに、「%localappdata%」と入力し実行します。



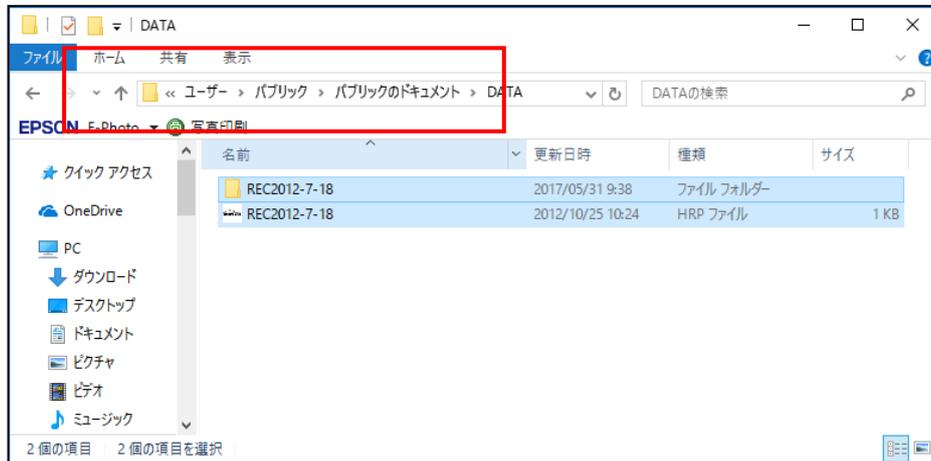
C: ¥Users ¥ユーザ名¥AppData¥Local¥まで移動しますので、「VirtualStore」内の目的のフォルダを表示させ、設定ファイルを貼り付けます。

同名のファイルに貼り付けますので、[ファイルを置き換える] を選択してください。

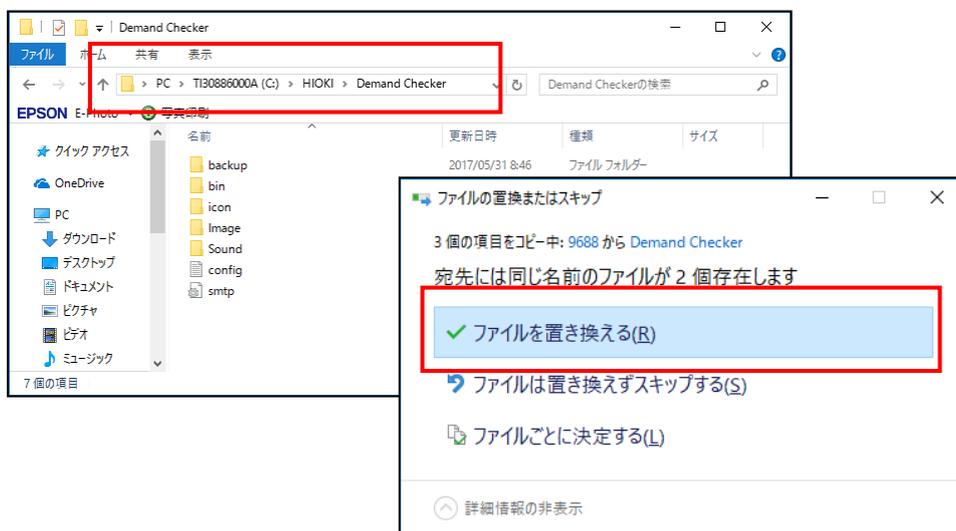


## (2). 記録ファイルの貼り付け (④・⑤)

C:¥Users¥ユーザ名¥Documents や C:¥Users¥Public¥Documents 内に、新規に「DATA」などのフォルダを作成し、④・⑤の記録ファイルを貼り付けます。



- 2. 「デマンド監視ソフト 9688/96688-30」、または「デマンド監視制御ソフト 9689」  
「5-3. (2).」で指定したインストール先 (例 C:¥HIOKI¥Demand Checker〇) に、「8-2.」  
でコピーしたファイル (⑧~⑩) を貼り付けます。  
同名のファイルに貼り付けますので、すべて [ファイルを置き換える] を選択してください。



- 3. 「デマンド監視ソフト 9688-01」  
「5-3. (2).」で指定したインストール先 (例 C:¥HIOKI¥Demand Checker2) に、「8-3.」  
でコピーしたファイル (⑪~⑰) を貼り付けます。

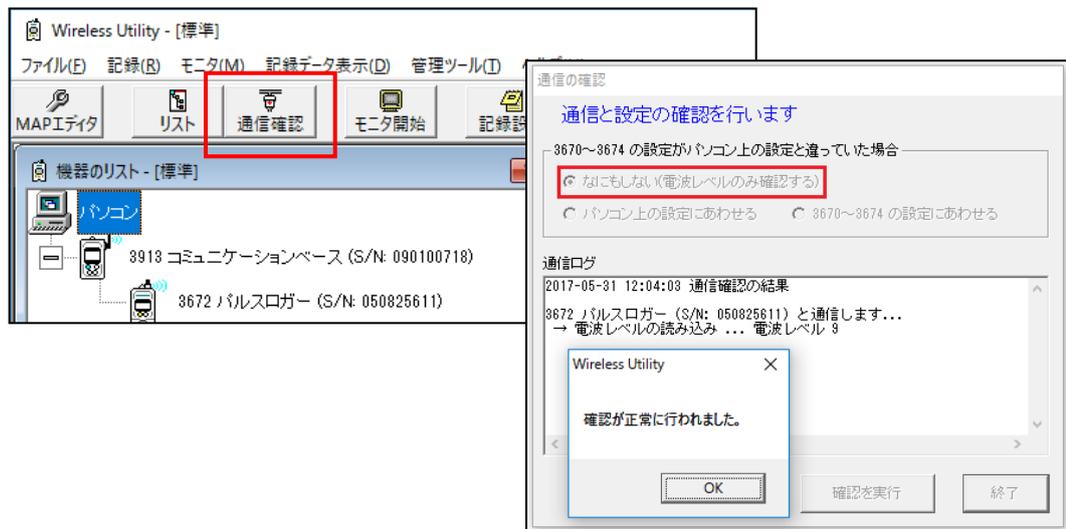
## 10. ソフトウェアの動作確認 (Win10)

– 1. 「Wireless Utility」を起動します。

### (1). 通信確認

ツールバーの「通信確認」ボタンをクリックします。

「通信の確認」画面で、「なにもしない」にチェックを入れ「確認を実行」をクリックし、通信ができることを確認します。

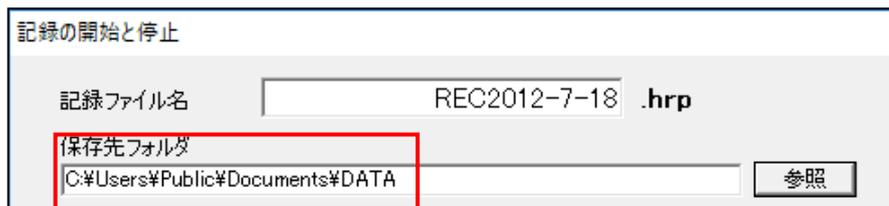


### (2). 記録の開始

「記録設定」ボタンを押し、「記録の開始と停止」画面で、「記録ファイル名」(④と同じ名前)を入力し、「保存先フォルダ」を設定します。

保存先フォルダは、「9 – 1. (2).」で記録データを貼りつけたフォルダを指定します。

(例 : C:\Users\Public\Documents\DATA)



「記録開始」ボタンをクリックし、右のような追加記録のメッセージ画面が表示されることを確認してから、「はい」をクリックします。

表示画面とメッセージが異なる場合、

記録ファイル名、または保存先フォルダを確認してください。



## (3). 定期収集の設定

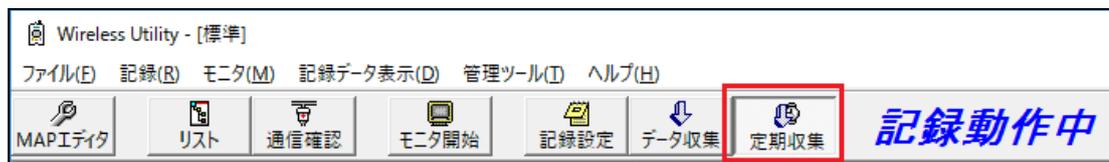
メニューバーの [定期収集] ボタンが、押されていることを確認します。

ツールバーの [記録] - [定期データ収集の設定] で、  
[30 秒] ごとに設定します。



## (4). 動作確認

記録動作状態 ([記録動作中] と青字で表示) と、定期収集が動作することを確認します。



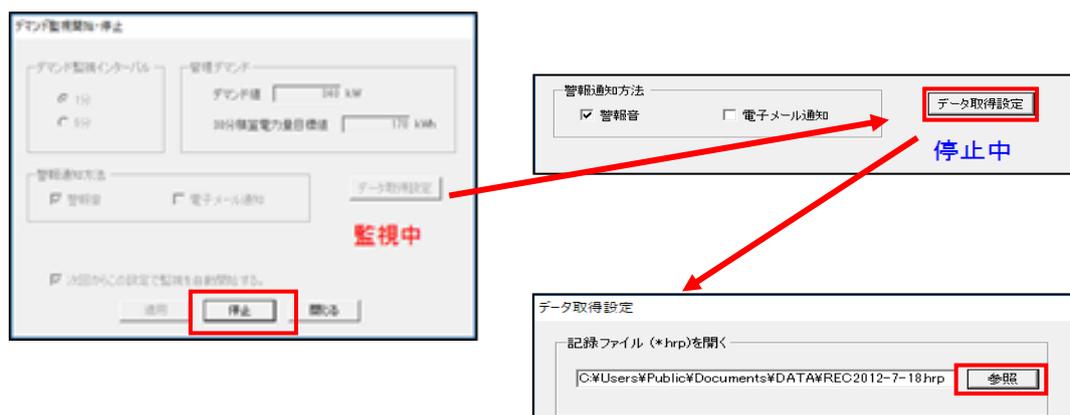
## - 2. 「デマンド監視ソフト」を起動します。

## (1). データ取得設定の確認

新パソコンではデータの保存先が変更されていますので、再度設定します。

ツールバーの  アイコンをクリックします

[デマンド監視開始・停止] 画面で、[監視中] と表示されている場合は、[停止] ボタンをクリックし、デマンド監視を停止します。



[データ取得設定] ボタンをクリックし、[データ取得設定] 画面で、[参照] ボタンを押し、保存先フォルダ中にある、記録ファイル (hrp ファイル) を選択します。

(例 : C:\Users\Public\Documents\DATA 内の hrp ファイル)

## (2). デマンド監視の開始

[デマンド監視開始・停止] 画面で、[開始] ボタンをクリックし、[監視中] と表示されることを確認し、[閉じる] ボタンをクリックして、デマンド監視が動作することを確認します。ウィンドウ下部の [デマンド監視中] ・ [更新時刻] を、確認してください。



9688-30 は、[日付と時刻] ・ [監視中] の表示を確認します。

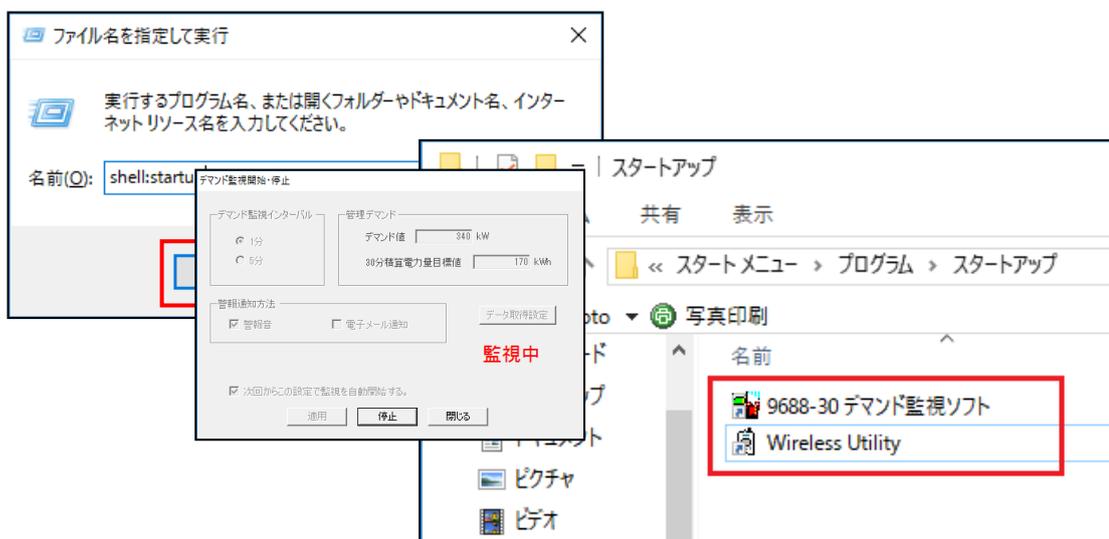


### 1.1. スタートアップへの登録 (Win10)

「Wireless Utility」と「デマンド監視ソフト」のショートカットを登録すると、パソコン起動時に自動的にソフトウェアが立ち上がります。

[Windows] + [R] のキーを同時に押すと、「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。名前の欄に「shell:startup」と入力し、OK をクリックします。

「スタートアップ」フォルダに、「Wireless Utility」と「デマンド監視ソフト」のショートカットを貼り付けます。



### 1.2. アンインストール (Win7)

新パソコンにて、動作確認が完了しましたら、旧パソコンの「Wireless Utility」および「デマンド監視ソフト」をアンインストールしてください。

また、スタートアップに登録している場合、合わせて削除します。

### バックアップのお願い

設定移設時に「8-1.」および「8-2.」でコピーしたファイルとフォルダは、CD-R等にコピーして大切に保管ください。万が一パソコンが故障した場合、この設定情報をバックアップしているとスムーズに復旧することができます。

#### 【付録：移行後の確認】

項目	内容	チェック欄
Wireless Utility※	[通信確認] ボタンで、機器と通信できますか？	<input type="checkbox"/>
	メニューバーに [記録動作中] のメッセージは表示されていますか？	<input type="checkbox"/>
	[定期収集] のボタンは押されていますか？	<input type="checkbox"/>
	[時計補正] は設定しましたか？	<input type="checkbox"/>
デマンド監視ソフト	更新時刻は、PCの現在時刻に近いですか？	<input type="checkbox"/>
	警報通知方法に、チェックを入れてありますか？	<input type="checkbox"/>
	管理デマンド下げ、実際にデマンド警報が出力されることを確認しましたか？ (音、メール、警告灯、リレー接点出力装置等)	<input type="checkbox"/>
監視用パソコン	現在時刻は正確ですか？	<input type="checkbox"/>
	電源の設定はしましたか？	<input type="checkbox"/>
	各種設定のバックアップは作成しましたか？	<input type="checkbox"/>

※：「Wireless Utility」のモニタ機能を利用すると、通信量が多くなるため、リアルタイム表示の更新に影響がでることがあります。  
通常は使用しない（「モニタ開始」の表示）の状態で運用ください。



※：本紙で記載している会社名、および製品名は、それぞれ各社の登録商標もしくは商標です。